

バックアップ

バックアップについては、常日頃語られているが、本当にバックアップを実行している人は存外少ないものだ。(自省を込めてのコメントです！)

何故か？

ついつい面倒だから・・・そうです厄介なのです。

未だクラッシュを体験したことが無いから・・・油断なのです。

では、本当に必要なのだろうか？

自分のライフスタイルにパソコンが深い関与をしていないなら万一に備えたバックアップなど忘れていた方がよいというのは自明です。

またパソコンに納められているアーカイブ次第であって、それがあまり重要でないというのであれば、これまたバックアップなんぞどうでもよいのです。

この点をよく考えて、どうしても失いたくないデータがあるならば(例えば写真などは一旦滅失したら最後です)、バックアップを真剣に考えねばならないわけです。



註：これはイメージ画像であって、ハードディスク・クラッシュが実際にこのように起こるわけではありません。

1) バックアップとはどういう事か？

パソコン内のデータはすべてハードディスクに入っています。

このハードディスクが考えようによれば、極めて脆弱なデータ保存の形であるということで、様々な理由でデータは常に今にも滅失する危険があります。

*何らかの誤動作・・・よくある話です。

*ウイルスなどによる受難・・・インターネットの世界は危険に満ちています。

*機械の損傷・・・何しろ毎分7200回転という精密機械なのでありますから。

*落雷などによる被害・・・最近身近で実際にあった話です。

対策はと云えば、簡単な話です。

データを**パソコンの外に**コピーして置く、つまりバックアップしておけばよいだけのことです。



2) バックアップのメディア

古来の絶対的なメディアは「紙」です。

プリントアウトして保存するというのは、最も簡単で確実なバックアップの方法であることは疑いを容れません。MCCにはまだまだ直ぐにプリントアウトして、それからゆっくり読もうという人が結構居られるのではないのでしょうか？

紙に印刷すれば、それがアナログであろうが、とにかくデータはパソコンの外に保存されますね。

しかし勿論これは論外であり、ジョークです。

データのバックアップ保存はデジタルでなければ困ります。

音声やシステムの保存も紙には出来ないし、第一再生するにはもう一度入力しなければならぬから、これでは実際的にはITライフに於けるバックアップの用を成さないのです。

パソコンの外でデジタル・データの保存が出来るメディアには色々あります。

- A) 小さなデータ・・・フロッピーディスクやフラッシュメモリー（最近はかなり大きな容量のものも安価に入手出来るようになりました。）
- B) 中位のデータ・・・CD或いはDVD等
- C) 大きなデータ・・・外付けハードディスクが最適です。

メディアの選択は目的に応じてということになりますが、保存すべきデータの量によって決まらしましょう。

メディアとしての要点は

- 1) データ保全が確実であること。

これは存外難しい問題で、実は**この世に絶対的に安全なメディアなどは有り得ません。**

水、光、磁気、熱、埃、物理的外圧その他考えれば限が無いのですが、一番起こり易いのは置き忘れ、しまい忘れによる喪失もあるので、メディアが小さいということは至便性と危険とが裏腹なのです。

- 2) 書き込み、上書きが簡便であること。

これは逆に云えばついうっかり内容が変更されてしまうことにも通じます。重要なデータは然るべきロックの必要性もあるでしょう。

- 3) ドライブとの関連性

メディアは再生のためのドライブが必要になり、パソコンに内蔵されているにせよ、外付けのドライブにせよ、日々進化しているIT業界に於いては一旦或るメディアに保存しても、それが未来永劫にどころか10年後にも再生が簡単に出来るという保証はありません。

FD、MOなど消滅してしまったデータ保全の手段も枚挙に暇がないのでやはりアーカイブのメンテナンスは常に定期的に必要と心得るべきことでしょう。

以上を総合すると、バックアップというのは、「**常日頃マメにやらねばならない**」ということが大前提であることも銘記せねばなりません。

尚ここではデータのバックアップをのみ論じていますが、我々のように仕事でパソコンを使っているわけではない立場からすれば、「データのバックアップ」で必要十分であると、私は考えていますが、如何でしょう？

その2 バックアップツール

私がこれまでに語っているのは、実はバックアップというよりはコピーイングに過ぎないと云ってもよいでしょう。

つまりパソコンの中のデータを外にコピーして置けば安心、それもデジタルデータとして外出しすればよいと論じて来たのです。

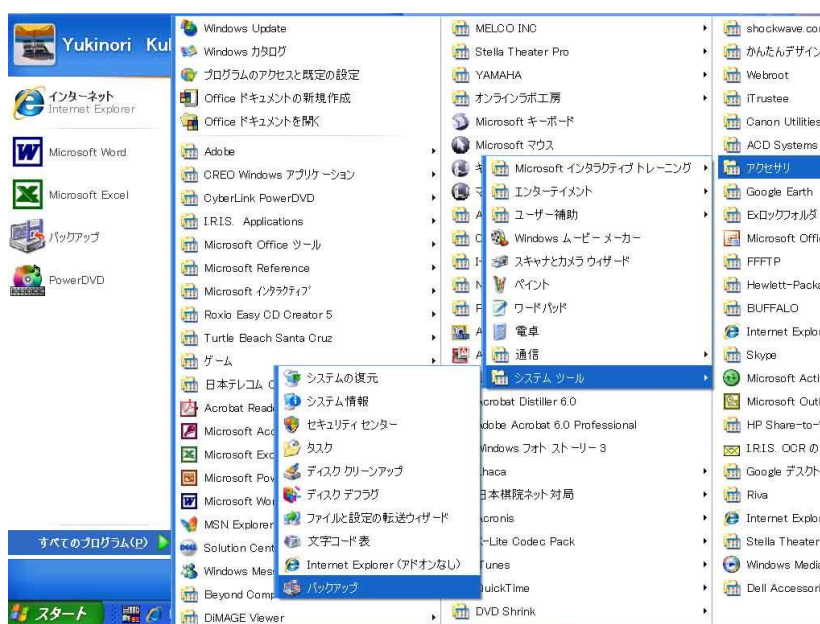
しかしながら、通常パソコンで「バックアップ」という時は、バックアップツールを使ってというのが普通です。

下の絵は有料の True Image LE の宣伝画面ですが、これなどはOSからアプリケーション・ソフト込みでバックアップしてしまおうというものです。

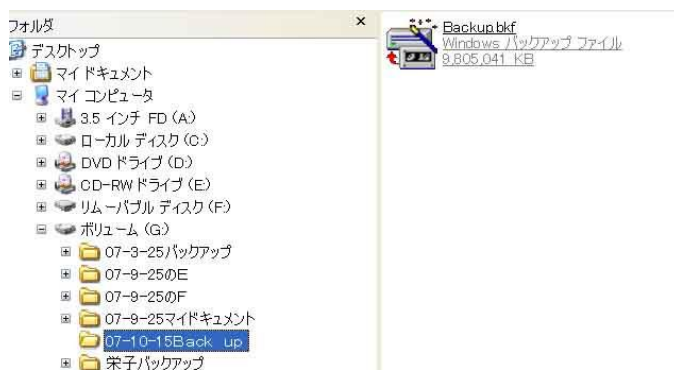


実はウィンドウズにもバックアップソフトは入っているのです。

我々が使っているXP Home Edition ではデフォルトには入っていないので、再インストールCDから自分でダウンロードする必要がありますが、それほど面倒なことではなく、簡単に入れることができます。



すると上のように、「スタート」→「アクセサリ」→「システムツール」→「バックアップ」と云う順序で「バックアップ・ウィザード」を呼び出すことが出来ます。そしてこれを使うと下記の様なバックアップファイルが指定したメディア（私の場合は外付けHDD）に作られるのです。



その3 バックアップの種類

バックアップは大まかに、以下の3種類に区分出来ます。

1) フルバックアップ (Full Back Up)

必要なデータ全てを一度にまとめて一括に複製する方法

2) 差分バックアップ (Differential Back Up)

前回のフルバックアップ時からの変更/追加されたデータのみを複製する方法

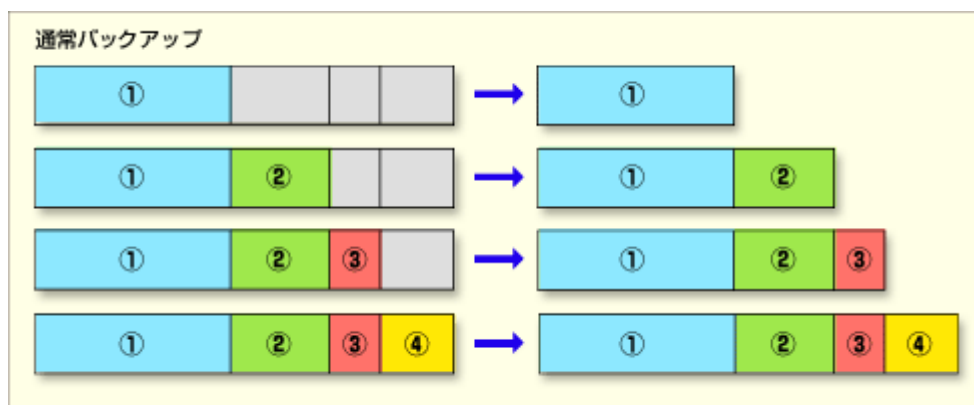
3) 増分バックアップ (Incremental Back Up)

前回のフルバックアップ時からの変更／追加されたデータのみを複製する方法

フルバックアップの特徴

毎回すべてのデータを複製しなければならないためバックアップに時間がかかるが、機械的作業であるから間違いが無い。

また複製したすべてのデータが一ヶ所にまとまっているので、復旧時にデータを探し回る必要がない。

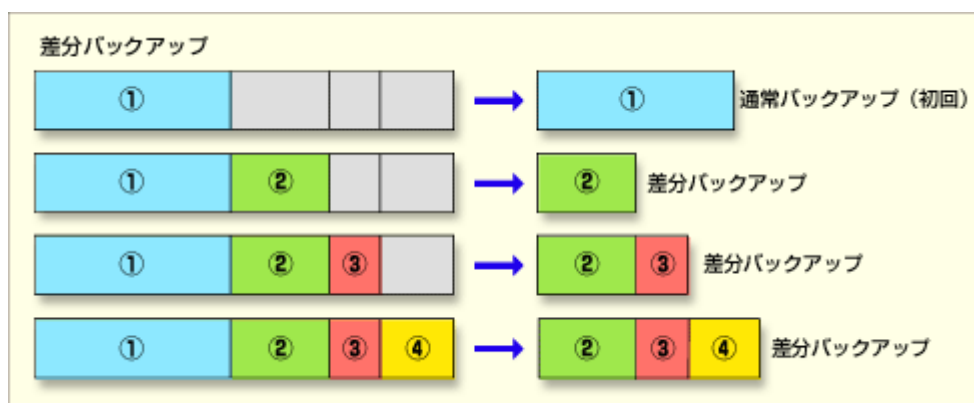


差分バックアップの特徴

毎回フルバックアップするのは、時間がかかって面倒であることは確かで、二度目からは増えた分或いは変更した分だけをバックアップすればよいではないかという考え方に基づく方法である。

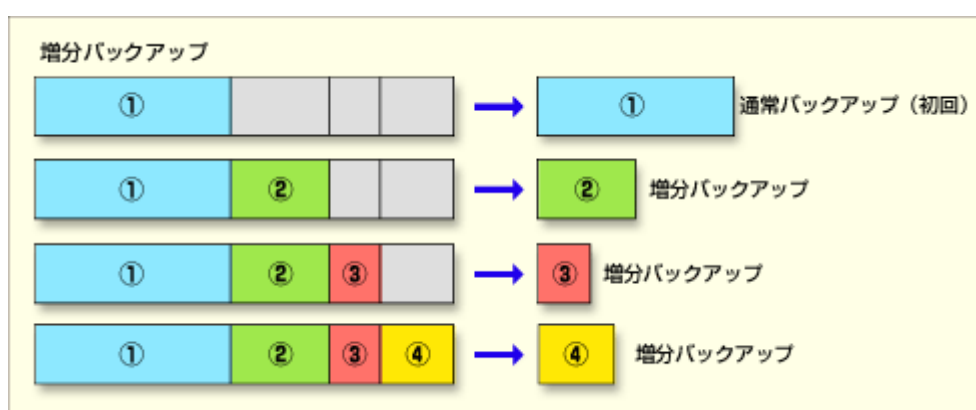
当然最初の一回はフルバックアップを行っておかないと差分が取れない。

変更／追加された分をすべて複製するだけなのでバックアップにかかる時間は短い



増分バックアップの特徴

一回はフルバックアップを行っておかないと増分が取れない
 変更／追加されたデータだけ複製するだけなのでバックアップにかかる時間は極めて短い



追記－ミラーリング

この他、必要データに対し内容に変化（更新・追加・削除・消去）が生じる都度、補助記憶装置の内容に対しても自動的に同じ動作を完全にとらせる（逐次、リアルタイムに内容の同期をとらせる事で、フルバックアップと同じ成果を持たせられる）ミラーリングという技法もある。

ミラーリング対応のハードディスクを使えば、データの入力時に一度に2ヶのハードディスクに書き込みが行なわれるという、単純な解り易いシステムであるが、これは業務用でなければ必要は無いらる。

復旧を必要とした時点で、既に全ての必要データが保管されている状態なので、すぐに復旧作業に入れる（物理的事故の場合。データ内容自体の不備が原因である論理的事故の場合、ミラーリング先の内容も同じ問題を抱えているので、この場合は当てはまらない）ばかりでなく、普段のバックアップ作業・動作時間を事実上必要としない点が、フルバックアップに比べ優れている。

人は立場が違えば考え方もパソコンに向う姿勢も全く変わって来るものなのですねえ。

この際私はこのお姉ちゃんに迎合して、またまた衝動的にソフトを一個仕入れてしまいました。当然のことながら、丸ごとバックアップする以上、それ相当の入れ物も必要というので、320GBの外付けHDDも一個追加です。

Q HD革命/Back Upとは?

A 初心者の方でも、クリック数回で簡単に作業を行える、バックアップソフトです。

ウィンドウズが起動しなくなった時の復元操作も簡単に行えます。

「HD革命/Back Up」は、ウィンドウズパソコンのシステムやデータを圧縮(イメージファイル化)して、ハードディスクやDVDなどに保存し、復元を可能にするソフトウェアです。あらかじめバックアップを取っておけば、突然のシステムクラッシュで、ウィンドウズが起動できなくなっても、面倒な再インストールや復旧作業をせずに、短時間で快適な状態に戻すことができます。「HD革命/Back Up」は特別な知識を必要とせず、クリック数回だけで操作することができる、初心者の方にもおすすめのバックアップソフトです。

ウィンドウズ上から使える記憶装置ならすべてOK!

対応環境					
Vista	IDE	USB	SATA	RAID (0, 1)	FAT32
XP	SCSI	IEEE 1394	SATA RAID	SATA RAID 5/6	NTFS
2000			eSATA		

保存先として選べるもの					
内蔵 HDD	外付け HDD	CD-R	DVD±R	DVD-RAM	ネットワークドライブ
		CD-RW	DVD±R DL	MO	

※USBメモリなどのUSBメモリ搭載のものはバックアップできません。

大切なパソコンの方がーに備えてバックアップ!!

快適な状態でシステムをバックアップしておけば・・・

万が一、パソコンが正常に動作しなくなった時でも

マウス操作だけで簡単に元通り!

安全・確実・簡単 バックアップ!

Windows完全復活ユーティリティ
HD革命 Back Up Ver. 7
 HD革命/バックアップ フォービスタ
 Windows Vista 対応
 Windows XP/2000 対応
 for Vista

さて、このソフトをインストールするのは簡単でしたが、それを使ってバックアップを開始してみると、予想以上に面倒なものでした。

1) 丸ごとバックアップの不成功

先ず第一に丸ごとバックアップというのは、実に時間がかかるのです。
第一回目はハードディスク-Cを丸ごと、2時間半もかかっていたのバックアップ
でしたが、最後の方でエラーが出てしまい、「元のファイルに問題があります。
強行して続行しますか？」というので、続行したところ、完了したら、完全な
復元が出来ないかも知れない・・・これでは意味無い！！
延々と時間をかけたのが無意味な結果ではありませんか。

2) テクニカルサポート

アーキ情報システムなるこの会社のテクニカルサポートは一日中電話が繋が
りません。

やっと電話が繋がっても、元のファイルに欠陥がある場合は、様々な原因が考
えられるので、どうしようもないと云うのです。

そしてその解決案としてデフラグをやれば或いは解決するかもと云うのです。
これまた1時間半かかったけれども、結果として思いがけずデフラグをやらさ
れてしまったわけですが、これでは再度バックアップをやる気が起きません。
一旦休戦となりました。

3) Easy Back Up

このメーカーの製品はVer. 4 データオンリーとVer. 7フルバックア
ップと二通りのCDがあります。

初日はフルバックアップで失敗だったので、已む無く次の日はデータオンリー
の方をやってみました。

選択したデータは合計30GBくらいでしょうか。

ところが、こちらもまた散々時間を費やしてやったけれども、バックアップが
100%終わっても、管理ファイルの生成中というのが何時までも続き、4時
間かかっても完了に至らず、遂に真夜中になってしまったので、断念してバッ
クアップ中止する羽目に至ったのです。

バックアップというのは途中で中止してしまうと、一切がパーになって消えて
しまいます。4時間も働いていたパソコンは可哀相にきれいさっぱり何も残さ
ず、見事に一瞬にしてすべてを消してしまうのです。

4) 微かな実績

結局の所このソフトを使いこなすことが全く出来ず、苛々がつるばかりというのが初日及び2日目の結果でした。

かくてはならじと、次のMCCまでにせめて何らかの実績を残したいと、画像のフォルダーのみをバックアップしてみました。

18GB, 5, 541ヶのファイルが詰まっている私の画像集は、1時間40分かかって完了しました。

5) 結尾

極めて不本意な中間報告になりました。

OS, すべてのアプリケーション・ソフトを含む「丸ごとバックアップ」の夢はまだ遠い目標です。

実績としての画像フォルダーのバックアップは一応出来たけれど、これほど時間がかかるなら、エクスプローラを使ってコピーした方が遥かに簡単だし、コピーなら中味は元のファイル同様に見ることが出来るので、却って便利・・・バックアップしたファイルは復元という手続きをとって、また延々と時間をかけないと見ることは出来ないのです。

敢えて云えば、一旦バックアップしてしまえば、それを基に差分バックアップが出来るし、それにはその都度さほどの時間は要しない・・・？

かくして今月テーマは未完のまま時間切れになりそうですが、必要経費は一寸大きくなってしまいました。

8GB	USBメモリー	¥13,140.00
320GB	ハードディスク	16,033.00
HD革命	Backup	<u>7,580.00</u>
		36,753.00

老人のボケ防止のお遊び代とすれば安いものでしょうか??

—おわり—